



発表項目 (行事名)	令和2年度農林水産祭参加全国林業経営推奨行事について ～道内から5名(個人5者)が受賞～		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>令和2年度農林水産祭参加全国林業経営推奨行事において、道内から5名(個人5者)が農林水産大臣賞、林野庁長官賞を受賞されましたのでお知らせします。</p> <p>○全国林業経営推奨行事の概要 森林の適正な管理並びに林業の技術・経営の改善に努め、森林の有する多面的機能の発揮及び林業の持続的かつ健全な発展に寄与している森林所有者等を表彰。 ・主催：公益社団法人大日本山林会 ・後援：林野庁 ・受賞の種類：農林水産大臣賞 (4個人・4団体) 林野庁長官賞 (13個人・3団体) 大日本山林会会長賞 (2個人・0団体)</p> <p>○北海道における受賞者 農林水産大臣賞 越高 春男 氏 (訓子府町) 林野庁長官賞 川原 与文 氏 (ニセコ町) 林野庁長官賞 峰友 武 氏 (中頓別町) 林野庁長官賞 杉江 英雄 氏 (浦幌町) 林野庁長官賞 藤原 秀達 氏 (鶴居村)</p> <p>○賞状の伝達・贈呈式典 ・開催日：未定 ・場所：未定</p>		
参考	<p>○本行事は林業奨励を目的として、昭和37年度より農林水産祭参加行事として、実施されています。</p> <p>○今年度、地域の模範となる林業経営を実践している道内の5名の個人の森林所有者が受賞されましたので、この栄誉を広く道民に周知していただきたく、お知らせいたします。</p>		
報道(取材)に当たってのお願い			
他のクラブとの関係	<p>同時配付 北海道道政記者クラブ、北海道林政記者クラブ、後志、宗谷、 同時レク オホーツク、十勝、釧路の各(総合)振興局の記者クラブ</p>		
担当(連絡先)	水産林務部森林環境局森林活用課 (担当者：外岡、峰岸) TEL ダイヤルイン 011-204-5517 内線 28-807		

令和2年度 全国林業経営推奨行事 受賞者名簿

区分	氏名	都道府県	市町村
農 林 水 産 大 臣 賞	越 ^{こし} 高 ^{たか} 春 ^{はる} 勇 ^{ゆう}	北海道	常呂郡訓子府町
	山 ^{やま} 中 ^{なか} 義 ^ぎ 一 ^{いち}	岩手県	岩手郡岩手町
	磯 ^{いそ} 村 ^{むら} 産 ^{さん} 業 ^{ぎょう} 株 ^か 式 ^{しき} 会 ^{かい} 社 ^{しゃ} 倉 ^{くら} 渕 ^{ぶち} 事 ^じ 業 ^{ぎょう} 所 ^{しょ}	群馬県	高崎市
	望 ^{もち} 月 ^{つき} 英 ^{ひで} 光 ^{みつ}	静岡県	静岡市
	栗 ^{くり} 本 ^{もと} 慶 ^{けい} 一 ^{いち}	滋賀県	高島市
	伊 ^い 東 ^{とう} 木 ^{もく} 材 ^{ざい} 株 ^か 式 ^{しき} 会 ^{かい} 社 ^{しゃ}	京都府	福知山市
	株 ^か 式 ^{しき} 会 ^{かい} 社 ^{しゃ} 坂 ^{さか} 本 ^{もと} 林 ^{りん} 業 ^{ぎょう}	徳島県	海部郡美波町
	長 ^{なが} 崎 ^{さき} 南 ^{なん} 部 ^ぶ 森 ^{しん} 林 ^{りん} 組 ^{ぐみ} 合 ^{あひ} 大 ^{おお} 村 ^{むら} 支 ^し 所 ^{しょ}	長崎県	大村市
林 野 庁 長 官 賞	川 ^{かわ} 原 ^{はら} 与 ^よ 文 ^{ぶん}	北海道	虻田郡ニセコ町
	峰 ^{たけ} 友 ^{とも} 武 ^{たけ}		枝幸郡中頓別町
	杉 ^{すぎ} 江 ^え 英 ^{ひで} 雄 ^お		十勝郡浦幌町
	藤 ^{ふじ} 原 ^{はら} 秀 ^{ひで} 達 ^{たつ}		阿寒郡鶴居村
	久 ^く 喜 ^き 沢 ^{さわ} 生 ^{せい} 産 ^{さん} 森 ^{しん} 林 ^{りん} 組 ^{ぐみ} 合 ^{あひ}	秋田県	能代市
	川 ^{かわ} 合 ^{あひ} 要 ^{よう} 一 ^{いち}	山形県	南陽市
	石 ^{いし} 田 ^た 安 ^{やす} 良 ^ら	埼玉県	飯能市
	中 ^{なか} 野 ^の 市 ^し 高 ^{こう} 社 ^{しゃ} 山 ^{さん} 四 ^し 区 ^く 共 ^{きょう} 有 ^{ゆう} 林 ^{りん} 運 ^{うん} 営 ^{えい} 委 ^い 員 ^{いん} 会 ^{かい}	長野県	中野市
	藤 ^{ふじ} 井 ^い 允 ^{まこと} ・要 ^{よう} 子 ^こ	岐阜県	加茂郡白川町
	鶴 ^{つる} 里 ^{さと} 生 ^{せい} 産 ^{さん} 森 ^{しん} 林 ^{りん} 組 ^{ぐみ} 合 ^{あひ}		土岐市
	杉 ^{すぎ} 浦 ^{うら} 則 ^{のり} 夫 ^お	愛知県	岡崎市
	高 ^{たか} 橋 ^{はし} 正 ^{しょう} 衛 ^ゑ	新潟県	岩船郡関川村
	渡 ^{わた} 邊 ^へ 美 ^み 広 ^{ひろ}	大阪府	高槻市
	田 ^た 中 ^{なか} 政 ^{まさ} 晴 ^{はる}	香川県	さぬき市
	宇 ^う 佐 ^さ 美 ^み 積 ^つ 夫 ^お	愛媛県	西条市
	水 ^{みづ} 上 ^{かみ} 博 ^{ひろ} 司 ^し	熊本県	菊池市
大 日 本 山 林 会 会 長 賞	池 ^{いけ} 田 ^た 理 ^り 一 ^{いち} 郎 ^{らう}	宮城県	石巻市
	岡 ^{おか} 田 ^た 和 ^{かず} 麿 ^{まろ}	栃木県	那須郡那珂川町

令和2年度 全国林業経営推奨行事 受賞者の概要

(別紙)

区分	氏名／名称	都道府県	市町村	概要
農 林 水 産 大 臣 賞	こしたか はるお 越高 春男	北海道	常呂郡訓子府町	主伐、更新、保育、間伐、踏網整備を自家労力で行ってきた。高性能林業機械を導入せずに利益を出すことを実践。
	やまなか ぎいち 山中 義一	岩手県	岩手郡岩手町	多角的な林業経営を行い、国有林の伐採作業も請け負う。原木しいたけ生産の先導者としても活躍する県の指導林家。
	いそむらさんぎよかぶしまかいしや 磯村産業株式会社 くらぶちじぎょうしよ 倉渕事業所	群馬県	高崎市	近年は積極的に地域林業に参入。職員の採用や高性能林業機械の導入を強化し、素材生産量は10年間で倍増した。
	もちづき ひでみつ 望月 英光	静岡県	静岡市	主伐と間伐をバランスよく実施し、毎年約3,000㎡の木材を安定的に生産。市の林業研究会としてSGEC認証を取得。
	くりもと けいいち 栗本 慶一	滋賀県	高島市	先祖代々受け継いだ234haの山林を、先進の経営理念に基づき、半世紀に亘って育成・管理している。SGEC認証取得。
	いとうもくざいかぶしまかいしや 伊東木材株式会社	京都府	福知山市	従業員の平均年齢は38歳。人材育成に力を入れる。今後は経営森林内での施業を循環させ、経営安定化を目指す。
	かぶしまかいしやかもとりんぎょう 株式会社坂本林業	徳島県	海部郡美波町	創業時は3,000㎡だった素材生産量は現在8,000㎡に増加。常に従業員の資格取得を後押しし、創業以来、労災なし。
ながさきなんぶしんりんくみあいわらしよ 長崎南部森林組合大村支所	長崎県	大村市	県内で最も早くプロセッサを導入、全国に先駆けて列状間伐を実施するなど、意欲と能力のある先駆的な経営を行う。	
林 野 庁 長 官 賞	かわはら よしゆみ 川原 与文	北海道	虻田郡ニセコ町	昭和54年から父が経営する苗木生産業に従事。昭和60年から森林経営を始めて、現在は154haを所有する。
	みねとも たけし 峰友 武		枝幸郡中頓別町	営林署3年、民間企業7年の勤務で技術と知識を培い、昭和47年に(有)峰友組を創業、地域の森林整備に貢献する。
	すぎえ ひでお 杉江 英雄		十勝郡浦幌町	明確なビジョンを持って林業経営を行い、その考えや結果を公表している。道の指導林家協議会会長、森の名手・名人。
	ふじわら ひでたつ 藤原 秀達		阿寒郡鶴居村	人工林はカラマツを主体にアカエゾマツも育成。広葉樹もミズナラ、ハルニレなど経済的に価値の高い良質材を生産。
	くきさわせいさんしんりんくみあ 久喜沢生産森林組合	秋田県	能代市	良質材生産に向けた保育施業を積極的に行う。近年は計画的に収入間伐を行うとともに中国への輸出にも取り組む。
	かわあい よういち 川合 要一	山形県	南陽市	半世紀に亘って農林業に従事。昭和53年から指導林家、55年から林業士として、地域のみならず県の林業振興に貢献。
	いしだ やすお 石田 安良	埼玉県	飯能市	木材搬出に適した所有山林で、適地適木の植栽、施業を行っている。地域の森林整備や国際交流などへの貢献も大。
	なかのしこうしやさんよんくきょうゆりん 中野市高社山四区共有林 運営委員会	長野県	中野市	カラマツ、アカマツ、ヒノキを育成。利用間伐では下層の有用広葉樹を残し、3層構造の針広混交林を実現している。
	ふじい まこと ようこ 藤井 允・要子	岐阜県	加茂郡白川町	昭和40年代からヒノキ苗を二人で植栽、作業道の開設・管理も二人で行うなど、夫婦二人三脚で山林経営を行った。
	つるさとせいさんしんりんくみあ 鶴里生産森林組合		土岐市	566haの森林を経営。最近ではコナラの育成に力を入れ、シイタケ原木販売やしいたけの生産で実績を上げる。
すぎうら のりお 杉浦 則夫	愛知県	岡崎市	祖父と父から知識と技術を受け継いだ地域林業の生き字引。40歳で指導林家に認定。昨年の全国林業後継者大会副会長。	
たかはし しょうえい 高橋 正衛	新潟県	岩船郡関川村	祖先から受け継いだ所有林は、現在、12年生から200年生までの様々な林齢で構成される。森林組合長を9年務めた。	
わたなべ よしひろ 渡邊 美広	大阪府	高槻市	所有林はナラとクヌギが中心。高槻シイタケセンターを運営しており、昨年の大嘗祭に大阪府の産品として献上された。	
たなか まきはる 田中 政晴	香川県	さぬき市	100年超の木は15mの枝打ちで通直な大径木に。一方、若齢木は列状間伐で低コスト化を図る。伊勢神宮農事功労者。	
うきみ きだお 宇佐美 禎夫	愛媛県	西条市	設備投資は最小限に抑え、経営規模に合った素材生産を行う。山林の集約化と、効率的な施業を心掛けている。	
みずかみ ひろじ 水上 博司	熊本県	菊池市	径級がすべてそろう資産価値の高い山づくりを行う一方、電力会社から電線下の伐採など特殊な施業を請け負う。	
会 長 賞	いけだ りいちろう 池田 理一郎	宮城県	石巻市	整形外科医である林家の五代目。平成29年に森林認証(FSC-PM)を取得、環境に配慮した持続可能な森林経営を実践。
	おかだ かずまる 岡田 和磨	栃木県	那須郡那珂川町	28歳で銀行を辞めて製材所と林業の経営に参画。以来45年に亘り、所有規模を拡大しながら安定した林業経営を実行。